

# 児童の読書に親しむ態度を育て、読書習慣を身に付けるための玉井小学校の取組

**学校名** 熊谷市立玉井小学校

**所在地** 熊谷市高柳116-1

**電話** 048-532-3986

## 1 本校の概要

今年度で開校140年目を迎える伝統ある学校で、児童数409名、学級数18学級（特別支援学級 知的障害、肢体不自由、自閉・情緒障害学級を含む）の中規模校である。学校教育目標である「自立・貢献」をふまえ、全校で伝統の長なわ、JRC活動（青少年赤十字）にも取り組み、心身ともにたくましい児童の育成をしている。毎週月曜日の朝の時間に「朝読書の時間」を設け、教職員とともに全校で読書に取り組んでいる。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ d 家庭や地域との連携に係る取組
- ・ e 学校図書館等の環境整備の工夫
- ・ f 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

### (2) 実践の概要

年間を通して、読書好きの児童を増やすために以下のような取組をしている。

#### ア 図書委員会や図書館補助員による読み聞かせや環境整備

低学年におすすめしたい本を選び、図書委員全員が昼休みに各クラスに行き、読み聞かせを行った。また、本の紹介や年間目標冊数・ページの達成者へのしおり作りやシール作りを行った。

図書館補助員が、季節や行事に合った本や児童に読んでほしい本を学年別に選定し、業間休みや昼休みに読み聞かせを実施した。



#### イ 地域との連携に係る取組

「本とのふれあい事業」では、地域の「こづえの会」の方に読み聞かせに来ていただき、季節に関する本や語り継ぎたい昔話などを学年別に読み聞かせをした。本とのふれあい事業の時間は、全校読書とし、全校で読書に親しんだ。

る本や語り継ぎたい昔話などを学年別に読み聞かせをした。本とのふれあい事業の時間は、全校読書とし、全校で読書に親しんだ。



#### ウ 1階ホールのミニ図書室や第2図書室の環境整備

1階ホールでは、ベンチに座って気軽に手に取って読むことができるミニ図書室を設置し、多文化に触れる本の常設を行った。また、第2図書室には、絵本を中心とした本を整備し、低学年の児童が本を選びやすいようにした。



#### エ 全校での暗唱

毎月、国語部を中心に暗唱の題材を選び、全校で統一して暗唱に取り組んだ。詩や古典等に触れるなど、活字に慣れ、読解力向上につながるような取組を行った。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 図書館補助員や「こづえの会」による読み聞かせがきっかけとなり、「その本が読みたい」と図書室を訪れる児童が増え、図書室利用が増加した。

イ 暗唱に出てきた分類の本に興味をもち、手に取る児童も見受けられ、読書の幅が広がっていた。

### (2) 課題

ア 図書室利用に学級の差がある。多くの児童に利用してもらえるよう教職員と協力をしていく。

イ 活字離れが課題である。挿絵で楽しみ、文字を読むことに抵抗を感じている児童が多い。漫画形式の本を好む児童が多い傾向があるので、物語など話の展開を楽しみながら継続的に読める児童を増やし、読書への苦手意識をなくしていきたい。

### (3) おわりに

図書室利用がさらに増えるように図書委員による取組や学級文庫の整備を実施し、図書室利用につなげていきたい。週1回の朝読書の時間を活用し、いつでも読んでいる本が身近にあるような読書好きな児童を育てていきたい。